

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	香芝市社会福祉協議会 ひまわり園		
○保護者評価実施期間	2025年2月3日		2025年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 25人	(回答者数)	25人
○従業者評価実施期間	2025年2月10日		2025年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援するクラスの職員全員が個々の子どもの状況を、共有している ・毎回PDCAサイクルに基づいた支援をしている ・本日の流れに沿い個別の達成度を見据えた計画・実行(支援活動)・振り返り・個々に応じた対応をしている	・療育の終了とともに支援記録の記入その日のうちに振り返り、目標が達成ができていないか、計画の修正から次の課題について話し合っている	・課題を踏まえてそれぞれ個々に応じた支援をし、成長につなげていく ・次回の個別支援計画の見直しにつなげていく
2	・社会福祉協議会の関屋こども園・志都美こども園とは、いつでも連携を取れるようにしている	・送迎の時に園と連絡を取り、支援の具体的な提案や子どもの様子等などの情報を共有している	・更に法人以外の園でも同じことができるように取り組みたい
3	・香芝市総合福祉センター内に事業所が所在することや同法人の香芝市社会福祉協議会のつながりから、センター内で活動参加や職員の方との交流、民生委員の方々と地域交流が持てる	・香芝市シェイクアウト・福祉センターの消防訓練参加 ・事業所の夏祭り、ハロウィンの施設周り等の行事	・今後、施設内である行事等に参加をしていきたい ・Instagramなどで地域活動の様子など、発信し、保護者が安心して子育てができる環境を作っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・11月から送迎を開始したが、社会福祉法人の志都美こども園、関屋こども園のみで行い開始をし、他の園には送迎を行っていない	・人員、車の台数の要因があり、これ以上難しいところがある	・現在、同法人のこども園だけでも送迎は引き続き行い、できることを精一杯していく
2	・事業所が児童発達支援サービス提供のみを行っているため、就学後の放課後等デイサービスの利用につながらないところがある	・人員、部屋の確保、送迎の問題などがあげられる	・就学への保護者の不安やニーズに寄り添えるように、放課後等デイサービス事業への検討に向けての、課題の改善を考える
3	・現在、専門職は保育士のみが在職しているため、他の専門機関を求められた方は事業所を検討されることがある	・ことばの発達が気になるお子さんの場合、運動療育(身体を動かすこと)が発語につながる情報が周知されていないところがある	・専門的な分野の外部講師を招いて事業所内研修等を行う ・障がいの特性を理解し、対応できる為の研修・学習する機会を増やし職員の資質を向上する ・職員が保護者に対して事業所の強みの情報発信や助言できるようにする ・専門職は保育士であるが今後も事業所の強みを重視した支援を展開をしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 香芝市社会福祉協議会 ひまわり園

公表日 令和 7 年 3 月 24 日

利用児童数 令和 7 年 2 月 1 日

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	24	1	0	0	・活動・荷物・トイレ・手洗うスペースが子どもに合う広さで ある ・広い空間で子どもがのびのびと活動ができていた ・広くてびっくりした ・以前子ども同士の衝突があった	・ヒヤリハット(事故・怪我)報告書を全職員で共 有し、同じような事故を起こさないように全職員 が常に未然に防ぐことができるよう努力してい きます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	0	0	2	・上記の事故があったため・児童一人につき一名の職員 がみていただき適切である ・登園する日により先生たちの考えや思いがあると思 う、的確と思っている	・配置数は適正人数で運営しています。事故・け がの発生を防ぐ為に、引き続きこどもの様子に 注意を払い支援をしていきます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境 になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、 障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等へ の配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	0	・空間がシンプルなので、子どもには分かり易い ・子どもに分かり易い(椅子や色々な場所)、それぞれの子 どもに対し工夫している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた 空間となっていると思いますか。	24	1	0	0	・床がマットで敷き詰められていて痛なくて心地よく過 ぎせている ・とても清潔感があり、広々として子供が生き生きのび び活動できる環境である	
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	24	0	0	1	・指先を使う作業やこれから就学にあたり必要な支援を 受けれると思う ・先生たちが子どものことを理解し、課題など常に共有さ れてると実感して、支援を受けていいると感じる ・いろいろなことにチャレンジでき、就学に向けた支援を受 けられると思う	・専門職は保育士であるが、研修などを重ねて、 子どもの特性に応じた支援をしていく努力して まいります	
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思 いますか。	24	1	0	0	・子の成長に応じて必要な支援プログラムで合っていると 思う ・支援プログラムをベースにしながら新たに課題や出来た ことなど把握し、内容に沿ってやってもらっている		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25	0	0	0	・宿題に関しても、これから就学するうえで習慣づけさせて頂き、有難く感謝している ・悩み・課題に十分に時間を使って聞いてもらい、的確に作成している	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	0	0	1	・子どもを先生たちが共有していて、理解し、その上で設定し、さらに支援内容も作ってもらっている	・新規で初療育された方にはまだ5領域や支援内容について十分に伝えきれなかったもの原因かと思うので今後丁寧に説明をしていく努力してまいります
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0	・社会福祉課から話を聞いて手続きをし、現在支援を受けている ・計画をベースにしながらもさらに子供をよく見て理解して、支援をしてもらっている	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	0	0	・毎週することが違う ・毎日子供の得意・苦手なことにも取りくめるようにとても工夫しているいろいろなことをしてもらっている	・各クラス、お子様の年齢や集中時間に配慮して、支援内容を設定しています。ご理解よろしくお祈いします
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	6	6	・今、そうした機会はない	・活動時間内に他機関に出向くことは難しいのが現状です。今後機会があれば検討していきます
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0	・常に詳しく説明してもらっている	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0	・時間を設けてもらい説明してもらっている	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	5	4	・そうした会がある時、情報の案内をもらっている	・事業所内で、家族に対して研修会は行ってはいないのが現状です ・他機関の研修情報や「でいあー」主催のペアレント・トレーニングの開催のお知らせ、研修情報は入口のホワイトボードに掲示し、保護者様にも声掛けをしています

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	1	0	0	・アプリで確認できる ・先生たちからも教えてくれるし、とても話しやすい雰囲気なので、自分からも話している	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	1	・困っている時、アドバイスを受けて状況が改善した ・先生たちからアドバイスをたくさんもらっている	・モニタリングで助言を行い、それ以外でも送迎時に必要に応じて助言を行っています ・親子クラスでは毎回相談援助をしながら進めています。今後も保護者様と気軽に相談できる関係を築けるよう努力してまいります
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	0	0	常に感じている	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	5	12	・そうした会有一些る時は情報の案内をしてもらっている ・兄弟がいない為、分からない	・利用者の生活環境が多様化しているため父母の会や保護者会などを開催することが難しいことが現状です
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	2	4	・適格な理解・説明などあり、対応してもらっている	・家族支援相談援助は保護者様全員に周知されるよう、お知らせをして、相談できるような体制を作っていく努力をしております ・保護者とは、気軽に相談できる関係を築き、お子様の成長の不安や悩みについてともに考え、出来たことを一緒に喜び合いながらお子様の成長を支援していきます
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	0	0	3	・常に実感している、よく話を聞いてもらい、先生たちで共有していると実感してる	・祖父母の送迎時は、その時に伝えるだけでなく、送迎ができない親子さんにも、伝言・情報アプリ等を使って丁寧に伝えることを心がけていきます
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	0	0	2	・発信されている ドアにもホームページやSNSでやっていることも案内があります	・インスタグラム・ホームページのお知らせを分かりやすく伝えていく工夫をしていきます

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	0	・気をつけながら配慮してもらっている	
非常時等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	0	0	2	策定されています、変更があると連絡してもらっている、用紙をもらっている	・入り口の扉にいつでも閲覧できることを周知してもらえるようになっています
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	0	0	2	・アプリで配信している ・定期的に子供に分かりやすい方法で色々な場合を設定して訓練をもらっている	・年3回火災・地震・水害(今年はひまわりクラスのみ)の訓練を毎回全ての曜日で計画し実行しています。ご理解ご協力お願いします
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0	・先生たちの安全に対する意識も強く、部屋も細かい所も十分な安全確保してもらっている	
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	0	0	1	・普段から詳しく説明されているので事故なども当然説明されると思う ・丁寧に説明をしているし、子どもの思いを考えながら対応もしている	・引きつづき、怪我の様子を伝え、丁寧に対応をしていく努力をしております
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0	・通っている教室は楽しくのびのびできる場所、先生、お友達と楽しいと思っていると感じる	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	2	0	1	・楽しみにしている、当日の予定を話すと喜んだり、帰ったら楽しかった話をしてる ・いつもとっても楽しみにしている	・設定の内容を月ごとにお知らせをしています ・「楽しい」「できた」「もっとやりたい」という気持ちを育み自信を持って意欲的に活動が出来るよう、たくさん遊び、たくさん体を動かし、より多くの楽しいを経験を積み重ねることで心と体の土台を作りをする支援をしていきます
	29 事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0	・私の思いを理解してもらい、子どもに対して常に的確な対応をしていただいている、アドバイスから新たに気づき『さすが、先生たち』と思うことがたくさんある、的確な声掛け、対応で子どもに向き合ってくれている ・とても満足している、いつもありがとうございます	友だちを意識して、一緒に遊ぶ楽しさを知り、集団活動の楽しさや集団生活のルールなど学んだことが力となり、幼稚園、保育所、こども園、就学先で発揮できる事を目標としています 職員一同努力しております

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		香芝市社会福祉協議会 ひまわり園		公表日		令和7年3月24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・広くのびのびと出来るが時には(人数少ないとき)広すぎる?と思うことも。幼少中の環境になじむには少し狭くしても良いか?	・落ち着いて過ごせるような環境づくりを今後も試行錯誤しながら考えていく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・欠席等で利用者が少ない時は、指導に関わらない職員が普段できない準備をするなど工夫している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	・部屋はあるが急に病気になった時、環境設備(ベッド等)がない。代わるものはありそう	・用意はしてあるが緊急性がなく使用することはなかった ・ベッドがあることは全職員伝える	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	活動後、いつもミーティングをしている 研修も積極的にしている	・担当した職員がその日のうちに支援の様子を振り返り、記録、共有している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		・第三者の外部評価は行っていない	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・嘔吐物処理・防犯は開催した	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・正職員の方々が立案、非常勤は共有	・全員で共有する環境を作っている
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・個別はしていないが、午後からは個々で合わせて取り組めるプログラムを工夫している	・午前は個別でないが、個々の声掛けや個々に応じた支援をしている ・親子クラスでは子育ての悩みに寄り添い相談援助を適宜行なっている
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	4		・サービス担当者会議の開催はなかった 相談支援員がひまわり園の療育を見学し、情報を共有している
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		・すでに保護者から要望があれば地域の保育園、幼稚園に訪問し連携を取っている 同法人のこども園は定期的に訪問し、連携を取っている
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	・保護者からの希望で訪園した子どもは連携をしている ・インクルージョン推進、支援は行っているがその他は分からない、携わっていない	将来の移行に向けた支援の計画・実行をしている。必要に応じて、関係機関と情報共有をしていく
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	5		・現在は行っていないが、必要に応じて保護者の要望があれば学校と共有をしていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携		(28~30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
		(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5	・他の事業所から見学はある	・相談支援事業所の相談員から子ども様子の見学はあった
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		・現在幼稚園、保育所との交流はないが、今後、行事への参加予定を検討している
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1		・モニタリング、送迎時には課題があれば保護者と話す機会を作り共有している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		・保護者の研修があれば、ホワイトボードにお知らせを掲示している、事業所内では実施してないが、でいあー主催のペアレント・トレーニングは、掲示してお知らせをしている、必要に応じては個別に声掛けもしている	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6		・実施には及んでいない ・親子クラスでは保護者同士で交流することがある
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0			
46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・面談時に保護者から話を聞き確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・保護者から詳しく話を聞き対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		・安全計画は作成し、共有している、今年度の点検は全職員が分担制でないので、来年度は分担制にしていきたいと思っている ・防犯訓練は2月に実施している
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		・安全計画マニュアルは、いつでも閲覧できる状態である モニタリングの時に確認をしたり、新しい情報があれば知らせていく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・虐待防止研修、実施してほしい、基本的なことは学びたい	・12月12日(木)、12月17日(火)に、身体拘束と一緒に実施済み、欠席者にも事後に複数の資料から説明をし、研修はきちんとしているので基本的なことは伝えている
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		